

# 松葉園 ~リハビリ通信~ 平成28年9月号

松葉園では、理学療法士常勤2名体制で、利用者様や入居者さまの身体や生活を支援しています。

## 今月のリハビリ風景

ドマーは気持ちいですよ。

楽だね



利用者様が元気に生活し続けられるように頑張ります(上野)利用者様には、楽しんで体を動かしてあげたいです(市川)



※写真左:上野、写真右:市川

リハビリの際には、浮腫みや血圧もチェックしています。



### リハビリ小話 認知症シリーズ①

今回は、認知症における徘徊の現状と対策についてご紹介します。

警察庁の発表によると、平成27年中の認知症若しくはそれが疑われる者の行方不明数は、全国で12,208人のほり、その内9.8割に当り12,058人は所在確認が取れた一方で、残り0.2割の行方不明者は行方が不明なままです。更に、それらの中で死亡事故例となってしまうのは、前年比50人増の479人となっています。

これらの統計により、**認知症関連での行方不明者数は3年連続で1万人を超え、またその2%が行方不明のままになってしまっている**という事実が明らかになりました。

こうしたことから、警察庁は認知症の症状により行方不明となってしまう者の早期発見及び保護のため自治体等と連携し、様々な取組みを行っているようです。その具体的な1例としては、地域における防犯メールや防災行政無線等での搜索及び情報提供の呼びかけと、警察署へ顔写真付き身元不明台帳を置くことが挙げられています。その他にも、認知症施策推進総合戦略(新オレンジプラン)では、警察官の認知症サポーター養成講座の受講を勧めており、受講により認知症に関する知識を高め、認知症症状の特性をおさえた搜索の実現を図っているようです。

今回のリハビリ小話では、**在宅介護における徘徊への工夫や便利グッズ等**を紹介いたします。

